

秋田県立図書館広報紙

2004 6月号

県立図書館だより

創刊にあたって

秋田県立図書館長 半田 和彦

このたび、秋田県立図書館広報紙「県立図書館だより」の創刊にあたり、一言あいさつを述べさせていただきます。

これまで発行してありました秋田県立図書館報「けやき」は、平成16年度からはホームページによる電子情報提供となりました。このことを受けて県立図書館では、パソコン操作が不得手な人や、紙面を通しての情報を求めている人に応えたいと考え、「県立図書館だより」の発行を企画いたしました。この広報紙に、本館の最新情報等をパッケージして、毎月、利用者の皆様にお届けしたいと思っております。

今後とも、ますます県民に親しまれる図書館として、努力したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今月の主催行事のお知らせ

- 今月県立図書館で開催される行事を紹介します -

秋田ふるさとセミナー

第1回 秋田の温泉について ~現代版湯治のすすめ~ 大湯りハピリ温泉病院 院長 小笠原 真澄 氏

期日:平成16年6月29日(火) 13:30~15:00

場所:3F 多目的ホール

*1か月前から申し込み受付開始します。電話、ハガキ、または閲覧室カウンターで受付いたします。定員は100名です。

今年度のふるさとセミナーの予定:第2回 9月 7日(火) 元 秋田市立千秋美術館館長 井上房子氏

第3回 11月25日(木) 秋田県立大学助教授 高橋秀晴 氏

7月の行事予告

古文書解読講座(基礎講座) 7月17日(土), 31日(土) 「国典類抄」より 場所:3F 多目的ホール

第2回県立図書館館長講座 7月23日(金) 「休日規程と連判休みの要求」 場所:3F 多目的ホール



<昨年度のふるさとセミナーの様子>

今月の県立図書館小展示の紹介

- 毎月テーマを決めて本の紹介をしています -

平成16年度第2回展示 **住環境を考える**

6月の環境月間にあわせて、住宅関係の資料およびそれらを取り巻く環境の資料を展示・貸出します。

6月5日は環境の日です。(1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められました)

期間:平成16年5月17日(月)~6月19日(日)

場所:2階閲覧室

平成16年度第3回展示 **手紙に親しむ ~一筆啓上、火の用心 お仙なかな、馬肥やせ~**

最近、文通の手段としてeメールが盛んですが、手紙を交わして互いの近況を知らせたり、率直な気持ちを相手に知らせたりする手紙は、暮らしの中に溶け込んでいてうれしいものです。何かと億劫になりがちな手紙を簡単に書く方法や、いろいろな作者からの手紙文の良さを再発見します。

期間:平成16年6月21日(月)~7月17日(土)

場所:2階閲覧室



県立図書館司書がお勧めする一冊

- 県立図書館の司書2人が毎回お勧めの本を紹介します -

書名 『みそ汁にはこべ浮かべて…』 **阿部なを 著 主婦の友社 1992** (推薦者 小林 祐子)

NHKの“きょうの料理”に着物姿で登場、たすきをきりりと締めていわゆるおふくろの味とでもいうべきにふさわしい感じで親しみを持った。その人が阿部なをさんという料理研究家であることを知ったのは、ずっと後になって『みそ汁にはこべ浮かべて…』という本に出会ってからである。

明治生まれ青森県出身、23歳の時、素封家阿部家の跡取りである画家、阿部合成に嫁ぐが、彼女の人生は、波瀾に満ちたものであった。(『修羅の画家 - 評伝阿部合成』参照)

津軽弁で気取りが無く、おおざっぱなようにいて繊細その味にすっかり魅了されてしまった。中でも“鶏卵”という郷土料理は、おもしろい。甘みは、男の活券にかかわるということで、口にしなかったが、食べてみたいと思うのが人情である。白餡におみそを混ぜ丸めたものを白玉粉の中に入れ卵にしたり、蒸したものを、お吸い物汁に入れて、あたかも鶏卵が入っているかのように見せ、食べてみると、ほのかに甘い。男のメンツを立て、満足させるこの一品は、彼女の懐のふかさを示しているようにおもしろい。

明治生まれの気骨のある凛とした女性の生き様がその料理の中に閉じこめられているかのようなようである。最後に渾身を込めたレシピが載っていて、しかもおもしろいのは、計量器を使用しない。そのことは彼女の味覚である舌が、生涯を通じて衰える事はなかったのではないかと思う。この本には、彼女の生き様と粋な味のエッセンスがちりばめられていて、興味深い。

書名 『エンデュアランス号漂流』 **アルフレッド・ランシング 著 新潮社 1998** (推薦者 嵯峨 進)

「事実は小説より奇なり」という。そのような「事実」は、当然のことながら日常生活では滅多にお目にかかるものでなく、本などを通して私たちの知るところとなる。

本書における「事実」は、「28人の南極探検隊が、南極圏で1年半以上にわたって遭難し、1人の犠牲者も出すことなく生還した」というものである。最初にこの「事実」を知ったときは、あまりに「小説より奇」であるため、作り話よりもウソくさく感じられた。

探検隊の母船「エンデュアランス号」は、南極の流水に閉ざされた挙げ句沈没してしまう。この致命的な不運を克服できたのは、船名でもある「エンデュアランス(意味:不屈の精神)」によるところが大きい。しかし、それ以上に印象深かったのは、重大な局面で幸運に恵まれたことである。この幸運が、「小説より奇」な「事実」にリアリティを与えているのではないか。

けいじばん

・特別整理期間の作業が無事終了しました

今回の特別整理期間(5月11日～15日)に当館では閲覧室書架清掃、蔵書の点検・移動等の作業を行いました。期間中、利用者の皆様には大変ご不便をおかけしました。ご協力ありがとうございました。次回の特別整理期間は11月16日～20日です。

・本をいたわって下さい

4月30日の秋田さきがけ夕刊の投書欄にも掲載されましたが、4月に月刊誌の最新号の記事20数ページが切り取られるという大変残念な出来事が起こりました。投書されたUさんも「世の中はついにここまで来たのかと怒りが込み上げてきた」と書かれています。県立図書館の資料等は全県民の貴重な財産です。その財産を守り、また十分に活用できるよう、みなさんのご協力をお願いいたします。

6月の休館日のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
		△	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

■ は休館日です。 は館内整理日です。(月の初日、1月4日が館内整理日です。ご利用は2階閲覧室の図書の閲覧のみとなり、貸出等は行いません)

開館時間 平日 午前10時～午後8時(4月～10月)
午前10時～午後7時(11月～3月)

土日・祝日・館内整理日 午前10時～午後5時

休館日の図書の返却は、入口のブックポストへお願いいたします。

編集発行 秋田県立図書館 〒010-0952 秋田市山王新町14-31 TEL 018-866-8400
発行日 平成16年6月1日 FAX 018-866-6200
URL <http://www.apl.pref.akita.jp>
E-mail 図書館全般について apl@apl.pref.akita.jp 資料の問い合わせ houshi@apl.pref.akita.jp